



Favela é Moda

ファヴェーラはファッション

TUFS Cinemaとは……

東京外国語大学TUFS Cinemaは、映画を通じ、世界の諸地域における社会・歴史・文化の理解を深めることを目的として行っています。

今回のブラジル映画特集では、リオデジャネイロのファヴェーラの若者たちが、人種差別や階級格差、セクシュアリティをめぐる偏見に、ファッションを通して抵抗する姿を描く『ファヴェーラはファッション』を上映し、その背景にある社会構造にも踏み込んでご紹介します。



©2019 ESPIRAL / OSMOSEFILMES

上映日時 2026年

6月24日(水)

16:30上映開始 (開場16:10、終了予定18:50)

場所 東京外国語大学

アゴラ・グローバルプロメテウス・ホール
(東京都府中市朝日町3-11-1、西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分)

プログラム

映画『ファヴェーラはファッション』
本編上映 (77分)

上映後解説／トーク
下郷 さとみ (ジャーナリスト)

聞き手: 宮下ケレコンエリカ
(s.e.a.「ブラジル映画祭+」主宰)

共催 東京外国語大学TUFS Cinema
s.e.a.

科研費基盤研究(C)「アフロブラジル文学研究—「アフリカ」という言説的实践—」(課題番号 24K03770) (代表: 武田千香)

後援 駐日ブラジル大使館・ギマランイス・ホーザ文化院
協力 東京外国語大学多言語多文化共生センター

入場無料
事前登録は
こちら



<https://sanda.tufs.ac.jp/event/tc260624form/>

※事前登録がなくてもご来場いただくことは可能ですが、事前にご登録いただくスムーズにご入場いただけます。定員を超える場合は、事前登録を済ませた方を優先させていただきます。

[お問合せ]
東京外国語大学 広報・社会連携課
(TUFS Cinema担当)

TEL 042-330-5441
平日9:00-17:00 (12:00-13:00は除く)

Email tufscinema@tufs.ac.jp

詳細は TUFS Cinema ウェブサイトにて
<https://www.tufs.ac.jp/tufscinema/>



上映日

2026年6月24日(水) 16:30上映開始(16:10開場、18:50終了予定)

ブラジル映画特集 ファヴェーラはファッション

監督: エミリオ・ドミンゴス

脚本: エミリオ・ドミンゴス, シンプリシオ・ネト

プロデューサー: レチシア・モンチ, ルーラ・ブアルキ・チ・オランダ

製作会社: エスピラル

共同製作会社: オズモズィ・フィルミス

撮影: レオ・ピッテンコート

音響: ブルーノ・エスピリト・サント

編集: ジョルダナ・ベルギ

出演: ジュリオ・セザール・シルヴァ・リマ, クラリザ・ホーザ

カメラ・ヘイス, カイオ・ギマランイス

受賞歴: リオ映画祭 2019

観客賞(最優秀ドキュメンタリー映画)

審査員特別言及

第13回ピエール・ヴェルジェ賞

最優秀長編ドキュメンタリー賞

2019年/ブラジル/77分/ポルトガル語/日本語字幕

原題: Favela é Moda



あらすじ

リオデジャネイロのファヴェーラで生まれたモデル養成事務所「ジャカレ・モダ」の設立者ジュリオは、ファッションを「抵抗のかたち」と呼ぶ。それは、黒人や貧困層に向けられる差別や偏見への抵抗であり、ファヴェーラに生きる若者たちにおくられるエンパワーメントでもある。映画は、新たに選ばれた若いモデルたちが自らのアイデンティティとセクシュアリティを肯定し、内包された既存の価値観を揺さぶっていく姿を映し出す。

黒人の身体を周縁化してきた社会に一石を投じるドキュメンタリー。

(「ブラジル映画祭+」より

<https://cinebrasilplus2026.sea-jp.org/ja/movies/jp-favela-e-modat/>)

本作について

映画の舞台であるジャカレジーニョは、リオデジャネイロ市北部にある、住民数およそ3万人のファヴェーラ(空き地を占拠して形成された貧困地区)だ。

スクリーンに踊る豊かな色彩と若者たちの瞳の力に「これこそファヴェーラ!」と、わくわくさせられた。

「危険な所」「犯罪者の巣窟」という偏見を投げかけられるファヴェーラだが、実際にはそこは人情あふれる庶民の暮らしの場であり、文化が生まれる場所、そして不平等な社会への抵抗運動が息づいてきた場所だ。

映画は、ファッションという身体表現を使って社会に挑戦するジャカレジーニョの人々の姿を生き生きと描き出す。ファヴェーラは、常に社会から一方的に見つめられ、評価を下され、断罪されてきた。それをランウェイの上から誇り高く見つめ返す若者たちの瞳の力をぜひ受け取ってほしい。(下郷さとみ)

上映後解説

下郷 さとみ (ジャーナリスト)

宮下ケレコン えりか (東京外国語大学卒業生
s.e.a.「ブラジル映画祭+」主宰)

会場

東京外国語大学 アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール
(東京都府中市朝日町3-11-1)

お問い合わせ

東京外国語大学 広報・社会連携課(TUFS Cinema担当)
TEL 042-330-5441 平日9:00~17:00 (12:00~13:00は除く)

Email tufscinema@tufs.ac.jp

Facebook @tufscinema.pr X(Twitter) @tufscinema

入場無料/事前登録制

<https://sanda.tufs.ac.jp/event/tc260624form/>



©2019 ESPIRAL / OSMOSEFILMES

交通アクセス



◆JR中央線「武蔵境」駅のりかえ 西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分(JR新宿駅から約40分)

◆京王電鉄「飛田給」駅北口より多磨駅行き京王バスにて約10分「東京外国語大学前」下車